



あいことば 上宇部 2025

～ 「あい」「ことば」を大切にする学校 ～

05.22 NO-17

上宇部地域のすてきな みまもり隊！！

あいことば上宇部 NO-02 でもお伝えしたとおり、上宇部地域のみまもり隊の皆様には、ただただ感謝です。4月からこれまで、学校がある日は毎日、子どもたちの見守り活動をしてくださっています。

学校の北側を走る道路は、道幅も狭く、歩道が片方にしかありません。また、朝は特に交通量が多く、大人でも、歩いていると危険を感じることがあります。みまもり隊の皆さんは、そんな危険箇所を重点的にサポートしてくださっています。実際に、学校北側の道路では、500m程度の通学路沿いに、なんと9名の方がみまもり活動をしています。



【学校前の信号のある横断歩道では……】

みまもり隊の隊長さんと学校運営協議会長さんが、毎日活動されます。信号があっても、見通しの悪い場所で、学校に出入りする車も多いところです。お二人は、子どもたちの安全を確保しながら、いつも「おはよう」と心のこもった挨拶をされます。時々学校運営のことや、地域のこと等についても意見交換されています。

【横断歩道はないが、子どもたちが横断せざるを得ないところでは……】

横断歩道がないところなので、往来する車に停止義務がありません。常に危険と隣りあわせの場所です。そんな場所の安全を守ってくださっています。ここでみまもりをされている方は、首から時計をかけておられます。話を聞くと、「登校する子どもたちが結構時間を知らないので、ちょっとした工夫です。」とお話されました。また、「アナログ時計なので、低学年の子どもたちには、時刻を読む学習にもなっていますよ～」と笑顔で話されていました。



<みまもり隊の方から……>

教職員と一緒に見守り活動をする、見守り隊の方は、「ありがとうございます!!」と言われます。「お疲れ様」は想定できますが、「ありがとう」と言われます。この言葉には、『子どもたちの安心・安全を守るのは地域の役目』という主体者としての思いや決意があるのではないかと思います。やっぱり上宇部はすてきな地域です。